

経営課題に対する取り組み

システムの本体化

合併前倒し

当行は、旧両行間で「将来の統合を前提とした全面提携」について合意した際、平成14年4月までに合併・システム統合を実現する計画でしたが、グローバルな競争に勝ち抜いていくため、合併のメリットを速やかに具現化していくことが必要と判断し、合併を当初計画から1年前倒しで対応することにしました。

そこで、システム面では、合併した平成13年4月1日より、旧両行のシステムを接続する中継コンピュータ方式を採用しています。

また、旧両行のシステムを一本化するため、平成13年度より、システム開発と事務統合の準備を行ってきました。

システムの本体化

勘定系の最終的な統合システムへの移行（システムの本体化）については、お客さまへの影響を最大限考慮し、平成14年4月8日から7月22日までの約3カ月間に、合計7回に分けて順次行うことで、一本化に伴うリスクを分散する方式としています。

なお、海外系システムおよび市場系システムについては平成13年度上期にシステムの本体化を完了し、国内勘定系の周辺システムについても、平成14年8月から9月にかけて順次一本化を行う予定です。

統合システムへの移行イメージ図

